

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

若い男性、20 後半～30 代位。

吉本興業の芸人のチャド・マーレンのような見た目。

ニコニコしていてフレンドリー、威圧感が全くない。

2. 通訳ガイド

こちらも若い女性。30 代～40 代前半位。

笑顔で出迎えてくれた。

TG の方も威圧感なし。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

富士山に登るにあたり、登山者には法律で禁止されている行為がいくつかあります。花や実を採ったり、虫を捕まえたり、指定された道以外を歩いたり、キャンプの設営や火を起こしたり、動物を離すことです。だいたいこのような内容だったと思います。TG にゆっくり読んでいただけたので、メモをとれましたが、文章は長かったです。

《自分の解答》

When people climb Mt. Fuji, there are several things to be prohibited for climbers.

というような出だしにした記憶があります。終始 NS も TG も一生懸命耳を傾けてくれている感じがしました。

4. 2 分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

① 人力車

② 川柳

③ 日本の城の種類について

《選択したトピック》

『人力車』

《発表した内容》

人力車(rickshaw)は2輪で、タイヤの上にはソファのような座る場所があり、1-2人が乗ることが出来る乗り物です。それを1人の人間が引っ張って動かします。現代では車や電車など公共交通機関発達したので、観光地で人力車を見る事が出来ます。この近くだと浅草や鎌倉といった観光地で見られます。人力車に乗ると、運転手がただ目的地に連れて行ってくれるだけではなく、その土地の名所や名物の食べ物について説明してく

れるので、ただ人力車に乗るだけではなく情報を得る事が出来ます。というようなことを説明した気がします。私が気付かなかったのか、途中1分ですといったアナウンスがなかったので、説明は短かったかもしれません。試験官に止められるまで話をつづければ良かったと思います。②、③のトピックについては2分間とその後の質疑応答が出来る自身がなかったので①しか選びようがなかったです。

5. 質疑応答について

NS	浅草や鎌倉で乗れるとのことですが、それは他にどこに行ったら見られますか？
I	観光地で人力車を見る事ができます。浅草や鎌倉以外だと京都でも見られます。10年以上前になりますが、私も京都で人力車に乗ったことがあります。
NS	どうやってそれが出来たかわかりますか。
I	(人力車の起源や由来が全くわからず。)昔の偉い人を運ぶ為の乗り物を作ったのがはじまりかと思います。と曖昧な回答をしました。
NS	日帰り旅行をするとしたらどこがおすすめですか。
I	日光をおすすめします。季節によって見どころは異なりますが、今の季節でしたら紅葉がきれいです。また、東照宮はユネスコの世界遺産に登録されていますので、歴史的な建物を見る事が出来ます。華厳の滝もありますので、自然と歴史の両方楽しめる場所です。
NS	何か日本の伝統料理でおすすめありますか。
I	いくつかありますが、すき焼きをおすすめします。具材は薄切りの牛肉、ねぎ、白菜、など出汁は昆布や鰹節を使います。その他醤油や砂糖など使います。ケーキやスイーツといったお菓子以外の料理で砂糖を使用するのは日本料理の特徴の一つだと思うので、すき焼きは甘い味がしますが食べてみてほしいです。
NS	どうしたらですき焼きを食べられますか
I	高級店ですが、今半というレストランをおすすめします。

6. 試験を終えての感想

NSもTGの方も終始和やかで緊張せずにすみました。

ニコニコと和やかすぎてあまり面接だったという感覚もなかったです。

人力車の2分間の説明で十分に詳細を述べられなかったのと、人力車の出来た由来を的外れなことを言ってしまったせいかな。質疑応答では、一般的な外国人旅行者がしそうな質問（おすすめ料理、観光地等）が多く人力車について詳しく突っ込まれなかったのが全体としては力不足だったのだと思います。TOEICとか一般の英語試験とは違い、受験者の身なりが良く（ほとんどの人がスーツだった）、トイレも1人で気軽に行けない、他の受験者と話してはならないといったあたりが国家試験なのだと思いました。